

# 避難時の心得

みんなで助け合い、落ち着いて早めに避難できるようにしましょう！

## 戸締まり・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。避難時の持出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



## 車での避難の注意点！

緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりますので危険です。

## 速やかに避難を！

動きやすい服装で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。

## 洪水・土砂災害での避難の仕方

### 歩ける水の深さに気をつける！

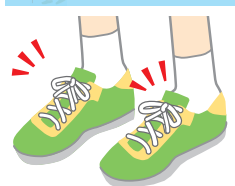
水深 50cm 以上の深さではほとんどの人が避難困難です。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう！

### 履き物に注意！

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴などが良いでしょう。

### ロープでつながる！

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう！また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに使って安全確認をして動いてください。



### もしも、土石流に遭遇したら

◆◆◆ 逃げ方に注意しましょう！◆◆◆

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。

土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



## 援助が必要な人がいたら

### 《 高齢者や病気の方 》

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。みなさんと協力して避難しましょう。



### 《 耳の不自由な方 》

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



### 《 目の不自由な方 》

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。

### 《 体の不自由な方 》

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で！昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。

